

高等学校 がん教育 保健体育科学習指導案

1 単元名

地域の保健・医療機関の活用「保健サービスの活用」

2 単元の目標

- ① 地域の保健・医療機関の活用について、話し合いや意見交換をするなど、課題の解決に向けて意欲的に取り組むことができるようにする。
- ② 地域の保健・医療機関の活用について学習したことを、個人及び社会生活にあてはめたり分析したり、計画を立てたりできるようにする。また、筋道を立てて説明できるようにする。
- ③ 生涯を通じて健康の保持増進をするには、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解できるようにする。

3 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none">● 地域の保健・医療機関の活用について、話し合いや意見交換をするなど、課題の解決に向けて意欲的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none">● 地域の保健・医療機関の活用について学習したことを、個人及び社会生活にあてはめたり分析したり、計画を立てたりしている。また、筋道を立てて説明している。	<ul style="list-style-type: none">● 生涯を通じて健康の保持増進をするには、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることについて、理解したことを書き出したり発言したりしている。
学習活動に即した評価規準	<ol style="list-style-type: none">① 地域の保健・医療機関の活用について、ワークシートに記入したり仲間と意見交換をしたりしている。 (十分満足：進んで)② 地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けて仲間と意見交換をしている。 (十分満足：進んで)	<ol style="list-style-type: none">① 学習で学んだ地域の保健・医療機関の活用について、個人及び社会生活にあてはめたり分析したりして、計画を立てている。 (十分満足：提案している)② 市町が保健サービスで実施している「がん検診」の活用について、日常生活にあてはめながら行動を選択している。 (十分満足：筋道を立てて説明している)	<ol style="list-style-type: none">① 生涯を通じて健康の保持増進をするには、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることについて、理解したことを書き出したり発言したりしている。 (十分満足：具体的に)② 市町が保健サービスで実施している、「がん検診」の種類や必要性を書き出している。 (十分満足：具体的に)

4 指導と評価計画（全3時間）

時	学習内容・活動	評価	備考
1	<p>保健サービスの活用</p> <p>学習内容 保健サービスを身近に感じ、積極的に活用することが生涯の健康にとって重要であることを理解する。</p> <p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健行政や保健制度について理解を深め、キーワードをワークシートに記入する。 自分が住んでいる地域の広報に記載されている保健サービスの内容について、グループで意見交換をする。 保健サービスについて理解を深め、自分や家族が利用できるように計画を立てながら、ワークシートに記入する。 	<p>関心・意欲・態度 ①</p> <p>思考・判断 ①</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p>
2	<p>がん検診の大切さを考える（本時）</p> <p>学習内容 市町が実施している「がん検診」を例に挙げ、保健サービスの意義を理解する。</p> <p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> がん細胞が生まれる仕組みや進行がんになるまでを理解し、キーワードをワークシートに記入する。 市町が実施している、がん検診の種類を考え、ワークシートに記入して発表する。 DVDの体験談を視聴し、がんの早期発見の重要性を理解する。 自分や家族のがん予防対策をワークシートにまとめ、グループで意見交換をし、発表する。 	<p>知識・理解 ②</p> <p>思考・判断 ②</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
3	<p>医療サービスの活用</p> <p>学習内容 医療機関の選択や、適切な医療サービスの活用について理解する。</p> <p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療機関の役割について理解し、キーワードをワークシートに記入する。 医療機関の選び方についてグループで意見交換をし、発表する。 適切な医療サービスの受け方について、自分がかかるべき行動をワークシートにまとめる。 	<p>知識・理解 ①</p> <p>関心・意欲・態度 ②</p>	<p>ワークシート</p> <p>観察</p>

5 本時の学習

- ① **目標** 市町が実施している「がん検診」を例に挙げて、保健サービスの意義や保健サービスを適切に利用することの重要性を理解する。
- ② **使用教材** DVD、ワークシート、資料
- ③ **展開** (2/3)

	学習内容	学習活動	指導と評価
導入 5分	<p>▶本時の学習内容を確認する</p>		<p>○市町役場が実施している、保健サービスの一つである「がん検診」について学習することを説明する。</p>
展開 35分	<p>発問1 がんの関連数値で、2人に1人、3人に1人、4人に1人は何を示すのだろうか。</p>		
	<p>▶全国のがん罹患率と死亡率・香川県のがん検診受診率とがんによる死亡者数を知る</p> <p>▶DVDのデータを視聴しながら考える</p>		<p>○DVDを使ってデータを示し、補足説明をする。</p> <p>補足説明</p> <ul style="list-style-type: none">●がんは身近な病気である。●がんで死亡する確率が男女で差が出るのは、生活習慣に着目すると、喫煙や飲酒が影響していると考えられる。
	<p>▶がん細胞が生まれるしくみを理解する</p> <p>▶キーワードをワークシートに記入する</p>		<p>○DVDを視聴させ、ワークシートにキーワードを記入させた後、補足説明をする。</p> <p>補足説明</p> <ul style="list-style-type: none">●全ての細胞に「がん原遺伝子」が存在するため、誰もが、がんになる可能性を持っている。
	<p>▶がん細胞が進行がんになるまでを理解する</p> <p>▶キーワードをワークシートに記入する</p>		<p>○DVDを視聴させ、ワークシートにキーワードを記入させた後、補足説明をする。</p> <p>補足説明</p> <ul style="list-style-type: none">●がんの中には、1cm程の大きさになるのに15年から20年以上かかるものもあるが、発見できる大きさになってからの進行が早く、1cmから2cmになるのに、わずか1年弱のものもある。●がん細胞は血液やリンパ液を介して、他の組織や臓器に広がる。
	<p>発問2 保健サービスで実施されている、がん検診の種類と対象年齢について考えてみよう。</p>		
	<p>▶市町が実施しているがん検診の種類・対象年齢・5年生存率について理解する</p>		<p>○ワークシートを使い、がん検診の対象者から、がん検診の種類を予想して記入させた後、発表させる。</p> <p>○DVDを視聴させ、がん検診の種類を確認させながら補足説明をし、ワークシートに記入させる。</p>



次のページに続く

学習内容

学習活動

評価

- ▶がん検診の種類を考えてワークシートに記入した後発表する
- ▶がん検診の補足事項をワークシートに記入する

補足説明

- 市町で実施しているがん検診の種類は、死亡率1位の肺がん、2位の胃がん、3位の大腸がんと、乳がん・子宮がんである。
- がんは40歳以降に増加するため、40歳以上が対象となる。
- 子宮がん検診だけは「二十歳の検診」とも呼ばれ、20歳から対象となる検診である。
- 大腸がん検診は2日分の便を取る簡単な便潜血反応検査である。
- 5年生存率とは、がんを治療してから5年後に生きている人の割合である。
- 現在、検診があるがんについては、早期に発見された場合、5年生存率が8割以上と言われている。

評価 知識・理解 ②

市町が保健サービスで実施している、「がん検診」の種類や必要性を書き出している。
(十分満足：具体的に)

体験談 「がんって、私や私の家族には関係ないと思っていました。」を視聴しよう。(15分)

- ▶がんの早期発見の重要性を理解する
- ▶DVDを視聴した後ワークシートに「がんの主な治療方法」を記入する

- DVDを視聴させた後、がんの主な治療方法を思い出させながらワークシートに記入させ、補足説明をする。

補足説明

- 化学療法や放射線療法は、通院しながらの治療も可能である。
- 緩和ケアは、がんと診断された初期段階から治療に組み込まれる。
- 早期であれば治療の選択の幅も広がり、「腹腔鏡・胸腔鏡手術」のような傷跡が小さく体の負担の少ない治療が受けられる。そのため、検診による早期発見が重要である。
- がんの相談窓口である「相談支援センター」を利用することによって、自分が得た情報を整理だけでなく、患者や家族の感情も整理することができる。
- 診断や治療には、医師や看護師をはじめ、細胞検査士や薬剤師などの多くの職種が関わっている。

- ▶自分や家族のがん予防対策を考える
- ▶自分や家族の「がん予防対策」を考えて、ワークシートに記入する
- ▶「がん予防対策」について、グループで意見交換をし、発表する

- 自分や家族の日常生活を振り返りながら考えさせ、ワークシートに記入させる。
- グループで意見交換をさせ、情報を共有した後、発表させる。
- ワークシートを回収する。

評価 思考・判断 ②

市町が保健サービスで実施している「がん検診」の活用方法について、日常生活にあてはめながら行動を選択している。
(十分満足：筋道を立てて説明している)

6 努力を要する生徒への手立て

	評価	手立て
知識・理解	市町が保健サービスで実施している「がん検診」の種類や必要性を書き出している。	ワークシートをもう一度見直したり、資料を確認したりして、学習内容を再度整理し、理解の程度に応じた補足説明をする。
思考・判断	市町が保健サービスで実施している「がん検診」の活用方法について、日常生活にあてはめながら行動を選択している。	必要に応じて学習を振り返らせたり、がん予防対策を一つか二つ例示したりして、個別に支援する。